

# ひょうごらくのうメモ 3

2023MAR



表紙: 第41回兵庫県ブラックアンドホワイトショウより

フルカラー版は組合ホームページから  
ご覧いただけます。



発行: 兵庫県酪農農業協同組合  
神戸市西区伊川谷町潤和1058  
西神文化センター3階

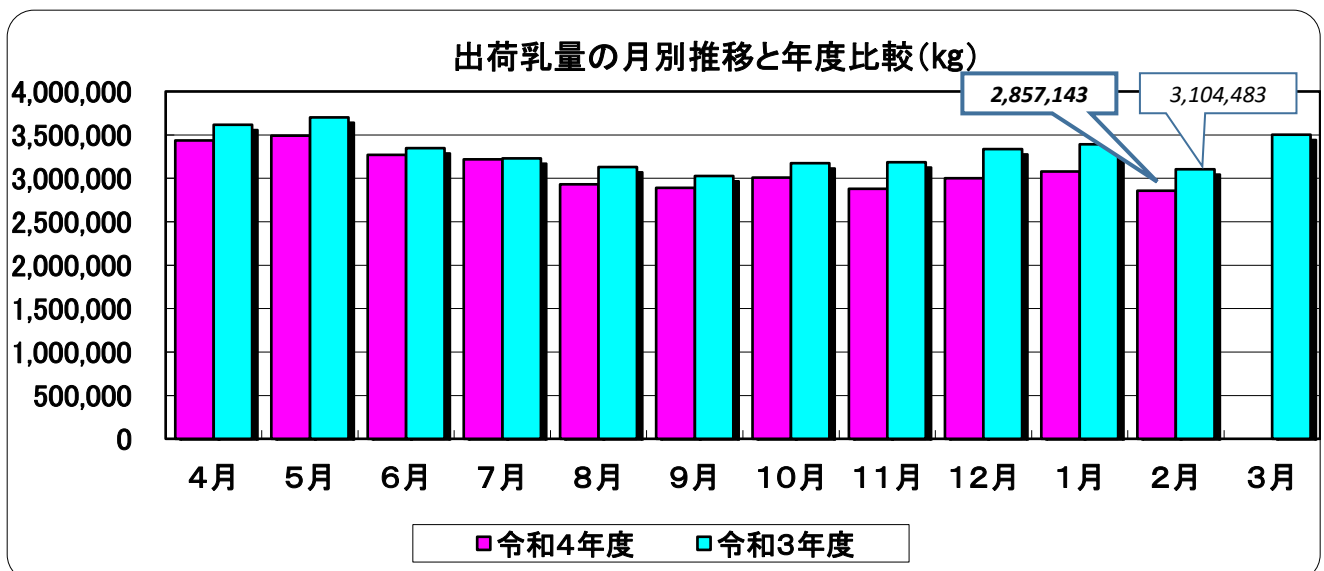
# 生乳生産統計

## 1. 全国(令和5年1月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	4年	4月	657.0	102.0
令和	4年	5月	678.5	101.2
令和	4年	6月	642.9	100.4
令和	4年	7月	645.5	101.0
令和	4年	8月	626.9	99.8
令和	4年	9月	606.2	98.8
令和	4年	10月	621.9	98.6
令和	4年	11月	596.9	97.2
令和	4年	12月	621.1	96.2
令和	5年	1月	624.3	96.0
令和	5年	2月		
令和	5年	3月		
令和	4年度	累計	6,321.0	99.1

## 2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 5年2月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	518,174	90.2	6,365,151	95.1	20
播州地区	451,938	90.0	5,713,138	91.1	18
丹但地区	286,878	96.0	3,427,178	97.8	14
淡路地区	1,600,153	92.6	18,553,500	93.8	86
合 計	2,857,143	92.0	34,058,967	94.0	138



## 理事会報告

令和5年3月9日(木)、第8回理事会をWEB会議方式により、理事6名、監事1名の出席の下開催した。組合長挨拶の後、令和4年度生乳計画生産進捗状況について報告。次の事項について協議した。

- ①役員(補欠選任)候補者の承認について  
推薦会議原議長より候補者の推薦を受け、理事会として2名の選任候補者を承認した。
- ②臨時総会の開催について  
監事の補欠選任を行うため、臨時総会開催日時、提出議案、開催運営を協議決定した。
- ③持分譲渡に伴う組合員の変更について  
親子間の持分譲渡とそれに伴う組合員の加入を承認した。
- ④災害見舞金の支出について  
1月の大寒波による積雪に伴い集乳困難が発生した。その際の廃棄乳に対し組合規程による見舞金の支出を決定した。
- ⑤乳代精算書等送付の電子化について  
以前より理事会及び地区別懇談会に相談していた乳代精算書の電子化について役員及び了解いただける組合員から先行して実施できる様システム構築を行ってゆく事を決定した。

その他の事項として、事業手数料の新設等を話合った。

★ **臨時総会の開催：3月28日13：30**  
**西神文化センター2階 201号室**

◆ **主な行事予定** ◆

3月

16日 全酪連・ブロック別会長・組合長会議(大阪市)

20日 近畿生乳販連理事会・臨時総会(大阪)

22日 兵庫県畜産協会理事会(農業会館)

内部管理職会議

23日 全国酪農協会理事会(WEB)

19日 ひょうご農林機構社員総会(共済会館)

28日 令和4年度第1回臨時総会(西神文化センター201号室)

31日 棚卸監査(淡路事業所・小野SP・本所)

4月

2日 第38回中国地区ブラックアンドホワイトショウ  
(全農岡山県本部総合家畜市場)

3日 職員会議(辞令交付)

6日 西日本酪農青年女性会議・スプリングミーティング(大山乳業)

7日 地区別インボイス説明会(地区)

11日 地区別インボイス説明会(地区)

20日 地区別インボイス説明会(地区)

※地区別インボイス説明会3か所・調整中です。



# 戸数・頭数調査結果

## 管内飼養頭数及び農家戸数の状況

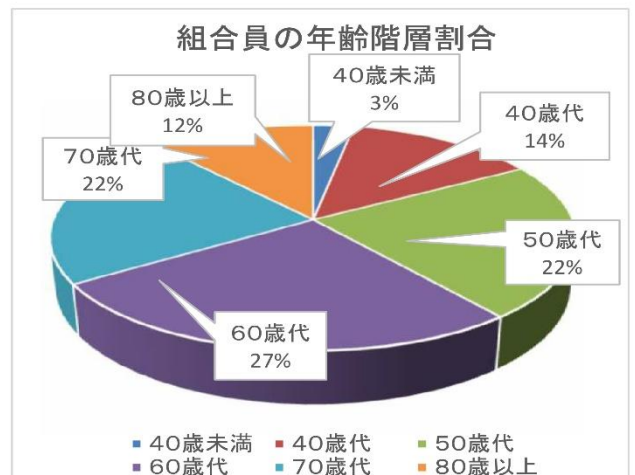
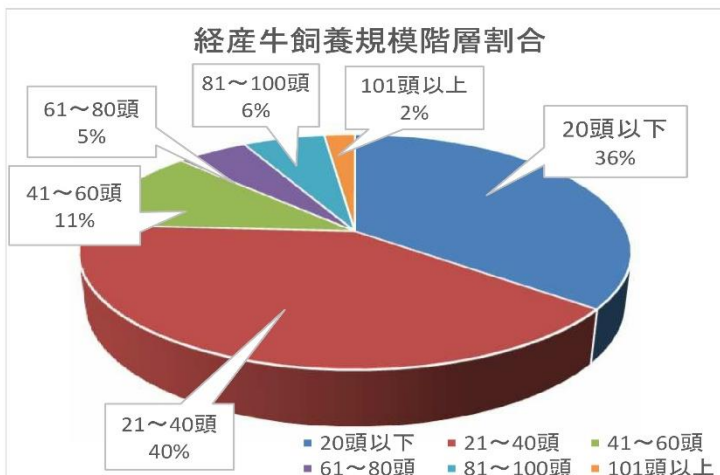
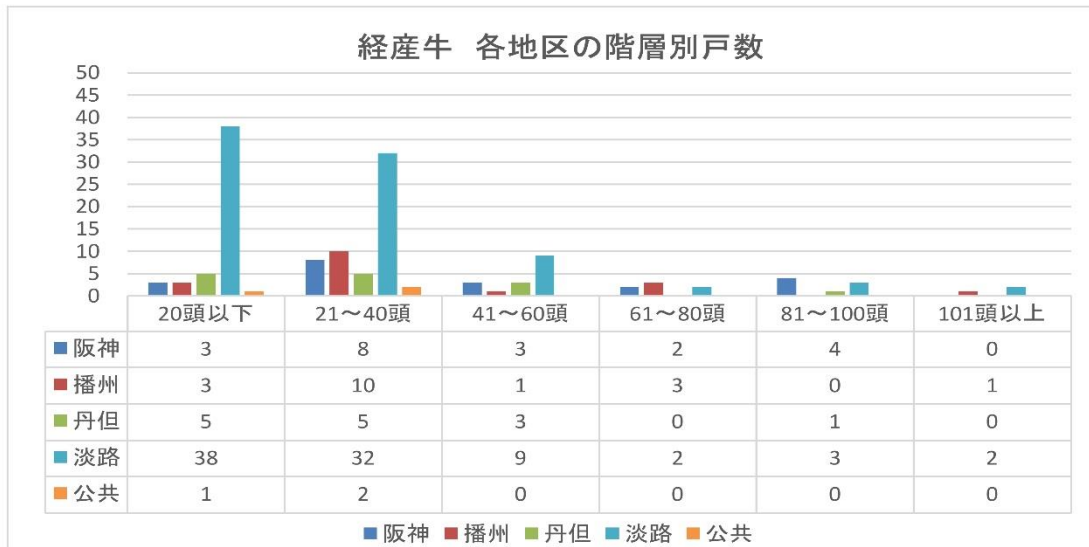
令和5年2月1日現在

### 飼養頭数

地区名	戸数	経産牛			未經産牛			乳用牛合計	肥育牛	総合計
		搾乳牛	乾乳牛	小計	初妊牛	育成牛	小計			
阪神地域	20	804	87	891	112	303	415	1,306	8	1,314
播州地域	18	619	57	676	87	205	292	968	0	968
丹但地域	14	378	29	407	65	169	234	641	2	643
淡路地域	86	2,108	274	2,382	342	995	1,337	3,719	18	3,737
公共	3	59	6	65	16	50	66	131	0	131
合計	141	3,968	453	4,421	622	1,722	2,344	6,765	28	6,793
前回調査増減	▲ 6	▲ 72	▲ 124	▲ 196	▲ 122	99	▲ 23	▲ 219	11	▲ 208

### 経産牛飼養頭数階層別農家戸数

	阪神	播州	丹但	淡路	公共	合計
20頭以下	3	3	5	38	1	50
21～40頭	8	10	5	32	2	57
41～60頭	3	1	3	9	0	16
61～80頭	2	3	0	2	0	7
81～100頭	4	0	1	3	0	8
101頭以上	0	1	0	2	0	3
合計	20	18	14	86	3	141



## 参考情報

## 淡路家畜市場情報

## 令和5年2月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			F1 スモール	メス	今回	10	71,060	201,300	4,400		
前回	14	83,679			162,800	33,000			57	-12,619	-15.1%
前年	20	115,995			184,800	57,200			56	-44,935	-38.7%
オス	今回	14		94,364	199,100	2,200			55		
	前回	13		121,000	217,800	35,200			59	-26,636	-22.0%
	前年	12		151,525	278,300	22,000			55	-57,161	-37.7%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			ホルス スモール	メス	今回						
前回											
前年											
オス	今回	5		6,160	11,000	3,300			51		
	前回	3		13,567	19,800	7,700			54	-7,407	-54.6%
	前年	10		44,880	57,200	27,500			56	-38,720	-86.3%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和5年1月第4金曜日・前年は令和4年2月9日

## 令和5年2月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			F1 スモール	メス	今回	10	109,230	171,600	22,000		
前回	10	71,060			201,300	4,400			56	38,170	53.7%
前年	21	112,305			235,400	42,900			60	-3,075	-2.7%
オス	今回	16		103,950	200,200	1,100			53		
	前回	14		94,364	199,100	2,200			55	9,586	10.2%
	前年	15		175,487	260,700	29,700			58	-71,537	-40.8%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			ホルス スモール	メス	今回						
前回											
前年	1	11,000			11,000	11,000			59	-11,000	-100.0%
オス	今回	6		9,717	20,900	1,100			48		
	前回	5		6,160	11,000	3,300			51	3,557	57.7%
	前年	2		22,000	31,900	12,100			52	-12,283	-55.8%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和5年2月第2金曜日・前年は令和4年2月25日

# 隣県家畜市場情報

## 乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84852.392	7917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99586.549	7368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104429.79	8775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101787.76	7440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123317.29	6324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117640.26	7227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74406.133	7599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	5	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22961.024
1		15,738	78	27,690	58	19,500	22	23711.039	5826
2		15,420	56	22,022	99	12,624	21	36077.575	5457
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

## 交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150927.73	14421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163424.21	13270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175587.62	15423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178696.53	13776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190858.36	12825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187300.12	12975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157593.29	13177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86296.618	15782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79230.837	15219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93941.78	14311
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。



## 令和5年2月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（牝・牝系・他）				初妊牛（牝・牝系・他）				経産牛（牝・牝系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	2/2					611	1,106	227	527	111	628	33	286
釧路	2/8					337	779	165	486	1	487	487	487
根室	2/9					486	931	289	544	1	219	219	219
南北海道	2/10	45	383	12	238	97	821	270	538	5	458	154	294
豊富	2/16					306	805	67	522	11	356	106	240
釧路	2/20	253	383	77	266								
十勝	2/21					599	1,125	216	647	84	659	101	356
北見	2/22					390	982	174	641	4	447	204	319
十勝	2/27	584	426	31	263	1	387	387	387				
合計	9回	882	426	12	263	2,827	1,125	67	566	217	659	33	312
前年同月成績	9回	256	513	44	332	2,978	1,415	90	619	121	736	108	367
前月合計成績	8回	966	397	1	236	2,387	1,110	113	503	171	704	59	299

## ホクレン乳牛市場開催日程

3月2日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	4月3日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成
3月9日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	4月10日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
3月10日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)	4月13日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
3月17日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	4月14日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)
3月20日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	4月14日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
3月21日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	4月19日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
3月22日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	4月20日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
3月23日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	4月21日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
3月24日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富) 育成	4月25日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
3月27日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津) 育成	4月28日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成

## ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

★家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

# 北海道乳牛産地情報

(令和5年3月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	強含み	札幌管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で98.6%、累計で101.7%、苫小牧管内月計で93.0%、累計で96.3%の実績となっております。
	初妊牛	5.0~6.0	やや強含み	3月の初妊牛動向といたしまして、5月下旬~6月中旬分産が中心となっております。道内外ともに搾乳用素牛の需要が高まっていることから、庭先購買につきましても資源状況も踏まえて、やや強含みで推移すると考えられます。2年後の生乳生産を見据えた雌雄選別腹の需要が高まっており、引き合いがかなり強くなってきています。
	経産牛	3.3~4.3	強含み	経産牛につきましては、雌雄などにより出回り頭数は多いものの、道内需要の高まりにより、強含みで推移すると見込まれます。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	強含み	根釧管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で93.0%、累計で96.8%、中標津管内月計で94.0%、累計で97.7%の実績となっております。
	初妊牛	5.8~6.8	強含み	3月の初妊牛動向といたしまして、5月下旬~6月中旬分産が中心となっております。初妊牛については、夏乳価対策のため、強含みで動いております。資源状況につきましては、先月に引き継ぎ、雌雄選別腹が少なくなってきたと見られます。搾乳用素牛のすべてにおいて、道内外からの引き合いが強まると見込まれます。
	経産牛	4.0~5.0	強含み	道内外からの引き合いが強まると見込まれます。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	強含み	帯広管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で98.7%、累計で99.0%の実績となっております。
	初妊牛	5.5~6.5	強含み	3月の初妊牛動向といたしまして、5月下旬~6月中旬分産が中心となっております。管内市場において、道内ギガファームが規模拡大に伴う導入を行っていることや、都府県からの導入が活発になったことが重なり、強含みで推移している影響から、庭先購買での取引においても強含みで推移すると予想されます。雌雄選別腹は資源が少ない中で、需要が高まってきているため、引き合いが強くになると見込まれます。経産牛については、資源は潤沢にあるものの、道内需要の高まりにより、産歴の少ない牛は特に高直で取引されていることから、強含みで推移するものと見込まれます。
	経産牛	3.5~4.5	強含み	道北管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で98.8%、累計で99.1%の実績となっております。
道北管内	育成牛(10-12月令)	1.7~2.7	やや強含み	道北管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.8%、累計で98.4%、北見管内月計で90.5%、累計で97.1%の実績となっております。
	初妊牛	5.0~6.0	強含み	3月の初妊牛動向といたしまして、5月下旬~6月中旬分産が中心となっております。初妊牛については、資源頭数は前年並みにありますが、雌雄選別腹の資源は少なくなってきたと見られます。管内市場にて道内外からの導入需要もあり、相場としては強含みで推移すると見込まれます。育成牛については、雌雄選別腹の資源の少なさが影響し、需要が高まってきているため、やや強含みで推移するものと予想されます。経産牛については、初妊牛の回復の動きを見せると見込まれます。
	経産牛	3.0~4.0	強含み	道内の2月中旬までの生乳生産量前年比は93.6%、累計で98.2%の実績となっております。北海道では徐々に冬の寒さが和らぎ、春に向けて季節が動き出し始めました。
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	強含み	3月の初妊牛動向といたしまして、先月の春分産相場が飛躍的に上がったことから、更に強含みで推移する見込みとなります。
	初妊牛	5.5~6.5	強含み	育成牛、経産牛も同様に相場が押し上げられる予想です。資源については、特に、雌雄選別腹の資源不足が顕著になり、確保が難しくなっています。雌雄選別腹の希望の方は特に急ぎますよう宜しくお願い致します。今後、年度内の駆け込み需要もあれば更に相場が変化することとも考えられますので、資源状況、相場動向に注視しながら優良搾乳用素牛を供給して参りたいと思います。ご注文の程宜しくお願い致します。
	経産牛	3.5~4.5	強含み	

\*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選苗購買による予想相場です。

庭先選苗購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

《各事務所電話番号》  
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232  
 根釧管内事務所 ☎(0153)76-1877  
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051  
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
 乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。  
 担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいたらできるだけお支払いいたします。  
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所にお世話申し上げます。



令和5年3月10日

## 輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所  
酪農生産研究会

### 北米コンテナ船情勢

北米西海岸南部(P SW)のロサンゼルス・ロングビーチ港では現在も日本向けの直行便は安定的なスケジュールで運航されています。先月2月にロサンゼルス・ロングビーチ港より発表された、23年1月の両港におけるコンテナ取扱数量は総計でおよそ130万TEUとなっており、昨年22年1月の167万TEUに比べ23%程度減少しています。世界的な景気の後退や、西海岸の港湾労使交渉による海運の乱れを危惧した荷主が東海岸に貨物をシフトしている影響が出ています。

北米西海岸北部(P NW)航路のシアトル・タコマ・ポートランド港では、大雪等による悪天候や空コンテナ不足により船積みスケジュールに乱れが生じています。

他方で昨年から続いている西海岸の港湾労使交渉は進展があり、2月23日に使用者団体であるPMAと港湾労働者団体であるILWUの間で共同声明が発表されました。交渉内容の詳細については言及されませんでした。両者の間で継続協議されていることに加え、近いうちに合意できるだろうと表明しており、交渉に大きな前進があったことが伺えます。

### ビートパルプ

【米国】

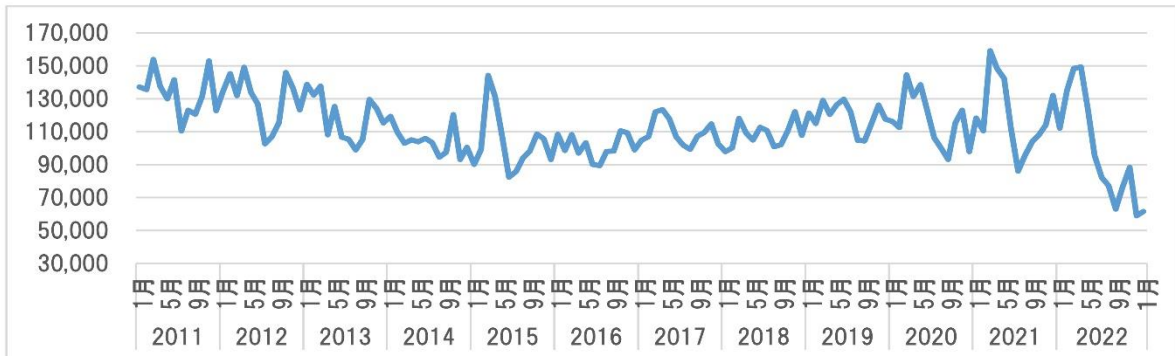
産地では工場から積出港間の輸送を担う鉄道会社において、慢性的な人員不足と降雪を伴う悪天候により、過去にない大幅な遅延が発生しています。通常、積出港まで、直接鉄道で輸送しますが、現在は出荷に間に合わせるために、近郊の都市まで鉄道輸送で運搬後、トラック輸送に切り替えて運搬をしています。運送手段の変更に伴う多大なコストアップに苦しむ一方、この鉄道輸送の混乱と停滞は、改善の気配を見せておらず、今後の安定供給に大きな懸念を生じさせています。

また先月から産地では例年より温暖な日が続いており、屋外で保管しているビート原料にダメージが発生しているため生産量の減少が懸念されています。

### 米国産牧草の日本への輸出量について

米国農務省(USDA)から3月8日に発表となった輸出統計によると、23年1月に米国から日本向け牧草の輸出量は総計61,571トンとなっており、海運の乱れがあった昨年1月の輸出量112,131トンに比べ50,560トン少ない数量となっています。従前では月間平均120,000トン程度、米国から日本に向けて牧草が輸出されていましたが、円安の影響や歴史的な高値となった22年産の産地相場を背

景に、新穀供給が開始した昨年6月から今年1月までの平均輸出量は75,419トンとなっており輸出量は大幅に減少しています。



(2011年から2023年1月までの米国から日本に向けた牧草の輸出量推移  
単位：トン 出典：USDA)

## アルファルファ

### ワシントン州

歴史的に高値から産地の輸出業者におけるアルファルファの荷動きは、引き続き低調となっており、特に日本、韓国からの引き合いは少ない状況となっています。22年産は収穫期の降雨の影響で発生量の少なかった上級品の産地在庫は限定的なものの、低級品については未成約の在庫が散見されます。寒波の影響で米国内酪農家、肥育農家からの乾草への引き合いが強まると思われた一方で、近隣生産者はすでに十分量の在庫を確保しているため、低級品の国内の相場はやや軟化傾向にあります。

### カルフォルニア州

南部インペリアルバレーでは2月より23年産1番刈の収穫が開始されており、現在、収穫作業は折り返しを迎えています。直近では最高気温は25℃前後の日が続いており、輸出向けにしっかりと乾燥した高成分品も生産されています。産地相場は22年産のピーク時に比べ軟化を見せていますが、それでも高値の水準となっており、今後も産地相場に注視する必要があります。

## 米国産チモシー

22年産は作況も良く、早魃が改善したアイダホでも例年並みに生産ができたことから、供給は十分な状況です。その半面で歴史的に高値となったことから日本、韓国からの需要は減少しており、加えて早魃の影響で牧草が十分に確保できなかった昨年と異なり、今年は内需においても十分な牧草の在庫があるため、各輸出業者で値直しを行い、荷動きの活性化を促しています。



## スーダングラス

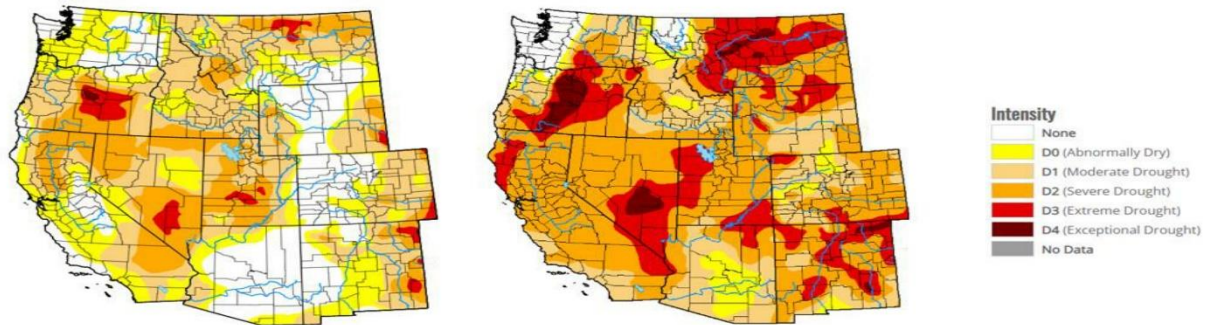
22年産は各輸出業者21年産の繰越し在庫が少なかったことや、産地における早魃の影響で水不足の懸念があったことから、輸出業者間で旺盛に買付が行なわれたため産地価格が高騰しました。

直近ではスーダンの種子産地であるアリゾナ州ユマにおいて、早魃により作付面積が大幅に減少し種子の生産量にも影響が出ています。これにより種子価格が上昇し、23年産はスーダンの作付面積減少が懸念されていますが、多くの輸出業者で22年産の繰越し在庫を例年以上に抱えている為、23年産の供給力を心配する声は聞かれていません。

## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

22年産はアルファルファ高騰と早魃を背景として、米国内の酪農家からクレイングラスに対して旺盛な需要が発生し、相場上昇につながりました。米国当局が3月2日に発表した米国西海岸における早魃状況は昨年同時期と比べて改善しています。

一方で産地インペリアルバレー灌漑当局から2月15日に発表となったクレイングラスの作付面積は22,014エーカー（昨年同時期19,323エーカー）で前年同時期比11.4%となっています。今後も天候には注視が必要となりますが、早魃状況が改善し、昨年よりも放牧草が順調に生育していることに加え、22年産からの繰越し在庫が例年以上に発生する見込みであることから、23年産は落ち着いた相場になることが期待されています。



（西海岸の早魃状況の比較。赤色が濃くなるほど、早魃状況が厳しい。）

左：2023年3月2日 右：2022年3月1日

出典：National Drought Mitigation Center

## バミューダ

22年産は種子が多く生産されたため、バミューダヘイの生産量が例年よりも減少しましたが、輸出需要が減少したため、21年産に比べ、22年産の繰越し在庫は多くな



る見込みです。バミューダストローに関しても輸出需要の減退はあったものの、国内の酪農家及び肥育農家向けに対して相対的に安価な繊維源として現在も堅調な荷動きが見られています。

2月15日時点の作付面積は64,816エーカー（昨年同時期61,455エーカー）と前年同時期比105%となっています。

## ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

22年産アニュアル種のライグラスストローを中心に、主要需要国である、日本、韓国で自給粗飼料である稲わらの作況が良好であったことから、需要が減少しており、産地での荷動きは鈍化しています。

## カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州では、2月末にも大雪に見舞われ、国内輸送は混乱しています。中国の経済成長が鈍化を見せているなか、船社も本船のスケジュールを間引き船腹を調整しているため、空コンテナ不足に加え、船腹予約が取り難い状況が続いています。この影響で工場の生産も大幅に遅れ、不安定なデリバリーが続いています。

## 豪州産オーツヘイ

22年産オーツヘイは東豪州、南豪州において収穫期に発生した「ラニーニャ現象」と「負のインド洋ダイポールモード」の影響で洪水を伴う断続的な降雨に見舞われたため、これらの地域では低級品中心の生産となりました。特に東豪州では重度の雨当たりから、輸出に適さない品質が多く発生しています。一方、西豪州の作況は良好で、中級品以上中心の発生となったため、現在日本向けは西豪州中心の出荷となっています。

産地相場については引き続き安定的なものの、中国向けの今後の動きには注視が必要です。現在中国向けにオーツヘイの輸出許可ライセンスを取得している工場は東豪州の3工場、他の工場ではライセンスが失効しており、更新されない状況が続いています。コロナウィルス感染拡大以降、両国の間で緊張状態が続き、綿花や石炭をはじめとする、オーツヘイ以外の品目でも豪州からの輸出が滞っていましたが、今年2月より石炭の輸出が再開し、直近では綿花も同様に出荷が再開され、豪中間の貿易正常化の動きがあります。今後オーツヘイも棚上げになっていた各工場の輸出向けライセンスが更新される可能性があります。中国向けの出荷が活性化すると、産地相場への影響も懸念されているため、今後の両国間の動きには注視が必要です。

以上